白川町森林組合

第20号
発行日：平成25年９月
発　行：白川町森林組合
住　所：加茂郡白川町三川1385-1
ＴＥＬ：(0574)72-1077
ＦＡＸ：(0574)72-2531
E-mail gst-sin@estate.ocn.ne.jp
ＨＰ　http://www.s-shirakawa.or.jp/
ホームページ公開中です。

白川町の山を守るために

白川町森林組合　代表理事組合長　今 井 良 博

この度の総代会において、白川町森林組合長の重職をお受けすることとなりました。過去２期は白川町長との兼務ということで、森林組合員の皆様から「もっと行政も森林組合を応援してくれ」との要請に応えたものでしたが、今回３期目となりますので、白川町や岐阜県の林業政策もしっかり受け止めていける、白川町森林組合づくりに最大努力するつもりであります。

今、農業分野においては、ＴＰＰ交渉のことで大変な状況になっています。関税が撤廃されると日本の農業は壊滅的な影響があると言われています。安倍首相は「国益なきＴＰＰはない」と言われていますが、世間の一般論としては、日本は産業に閉鎖的だと言われ、もっと開国するべきだと言う人もいます。しかし、日本の農業が壊滅するような約束をしても良いものでしょうか？かつて昭和30年代、自動車等輸出産業が日本経済を支えていた時、木材の関税はほぼ撤廃され、外国から木材がどんどん日本に入り、日本の木材価格は激安になり現在も続いています。自動車の代わりに木材を輸入する時代は終わり、今ではそれぞれの国が、国内の森林の重要性を認識し、伐採制限や輸出制限をしている国もあります。又、木材ではなく、柱材や板材に加工して輸入されており、まだまだ厳しい国産材の状況は続くとは思いますが、関税が廃止されたことにより、日本国内の林業がこれほどまでに衰退する状況を見て、まさか、無条件でＴＰＰ交渉を受諾することはないと思いますが、判りません。農業がダメになるということは、この中山間地には人が住まなくなり、増々不在地主が増加し山の手入れをする人も無くなることになり、林業経営や、集落の森林を守ることもできない状況が想像されます。長野県の根羽村は村域の約半分の4,000haが村有林とのことで、森林組合の職員が山仕事や製材、柱や板材(全てスギ材)の販売も行っており、林業で村おこしをしている所もあります。白川町は、どんぐり基金の山を含めても480ha程度しか町有林は無く、とても町有財産で町おこしはできません。

これからも、民有林を大きな団地化することにより山の手入れを行い、少しでも山から現金収入があるよう、山主の皆様の協力が得られるよう白川町の山の手入れをしていかなければと考えております。

当面、岐阜県においては、折角いただいた森林・林業加速化基金の残金平成26年度分から約20億円(東日本震災関連分)を国に返還しなければならないとのことであり、これに代わる交付金を国からもらって各市町村の行う森林整備事業に従来どおりの助成がされるよう、強力に要請活動をしなければならないと考えております。組合員の皆様の絶大なるご協力を賜りますようお願い申し上げ、組合長就任のあいさつとします。

第42回　白川町森林組合通常総代会開催

５月25日午前10時より、第42回白川町森林組合通常総代会を白川町林業センターで開催しました。

総代定数200名のところ、本人出席73名・委任出席70名の合計143名の出席をいただき、今井良博組合長の挨拶の後、議長には、佐見地区の田口裕和氏が選任され議事の審議に入りました。

第１号議案　平成24年度事業報告、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について

第２号議案　平成25年度事業計画の設定について

第３号議案　平成25年度賦課金の額及び徴収方法について

第４号議案　平成25年度手数料率及び諸経費の料率の決定について

第５号議案　平成25年度借入金の最高限度の決定について

第６号議案　一組合員に対する貸付金並びに貸付利率の最高限度及び債務保証の最高限度決定について

第７号議案　平成25年度役員報酬の決定について

第８号議案　平成25年度預け金の取引先金融機関の決定について

第９号議案　監査細則の変更について

第10号議案　任期満了による役員の選任について

今井良博組合長　挨拶

議長の田口裕和氏

提出された議案すべてが、原案どおり可決されました。

◆　ご臨席いただいた来賓の皆様　◆

衆議院議員	藤井孝男様	可茂農林事務所　所長	石原雅弘様
衆議院議員	今井雅人様	可茂農林事務所　林業課長	田中高行様
参議院議員	渡辺猛之様	白川町役場　農林商工課長	今井　俊様
岐阜県議会議員	加藤大博様	岐阜県森林組合連合会　会長	矢口貢男様
白川町長	今井良博様	東濃ヒノキ白川市場（協）理事長	加藤一昭様
白川町議会議長	鈴村正次郎様	東濃ひのき製品流通（協）理事長	杉山計弘様
白川町産業教育常任委員長	島田有康様	東濃ひのきと白川の家建築協同組合　理事長	藤井佐敏様

◆ 新規役員名簿 ◆

平成25年５月～平成28年５月

役　名	氏　名	集　落	住　所	役員経歴
代表理事組合長	今井良博	上田	白川町三川3257-1	H19．5～
副組合長	今井宣考	中川	白川町中川1335-1	H19．5～
〃	加藤一昭	中新田	白川町黒川1232	H19．5～
理事	田口英樹	小原二	白川町河岐1680-1	H22．5～
〃	清水唯義	成山	白川町下佐見1683	H25．5～
〃	今井潔志	後山	白川町赤河622	H25．5～
〃	藤井芳昭	中央	白川町切井2165	H25．5～
〃	大岩敏廣	葛牧	白川町河東2156-1	H25．5～
〃	熊崎吉夫	小野	白川町上佐見2326-1	H25．5～
〃	藤井敬之	日面	白川町黒川3085	H25．5～
代表監事	安江充	鱒渕	白川町黒川684-3	H25．5～
監事	村雲敏一	有本	白川町上佐見5984-1	H22．5～
〃	加藤繁博	宇津尾	白川町白山786	H25．5～

今年度は、役員改選が行われ、推薦委員会で決定した理事10名・監事３名が選任されました。

◆ 職　員　体　制 ◆

役　職	氏　名	集　落	担　当　業　務	担当地区	入社年度
参事	多賀雅博	坂ノ東	総括	-	昭和52年４月
庶務担当	中嶋貞江	三川	庶務・購買	-	平成４年４月
業務係長	伊東孝幸	広野	業務・購買・加工	白川・蘇原	平成７年４月
業務係長　兼　会計	澤田卓朗	白山	財務・会計・福利厚生・業務	白北・佐見	平成９年４月
技術主任	藤井博文	川辺町	森林整備・現場管理	-	平成10年４月
業務主任	加藤万貴	黒川	業務・公社・森林環境税	黒川	平成15年５月
技術員	福田明洋	河岐	森林整備・現場管理	-	平成19年４月
業務	鈴村尚也	河岐	（業務・購買・加工）補佐	-	平成25年４月
（庶務・会計）補佐	柘植紀子	赤河	（庶務・会計）補佐	-	平成25年４月
森林技術者	山口晋平	切井	現場作業	-	平成16年４月
臨時技術者	安江侃男	切井	木工加工業務	-	平成20年２月
臨時職員	今井達美	河東	地籍調査業務	-	平成23年４月
臨時技術者	馬場雄吾	可児市	現場作業・測量・調査	-	平成23年４月
臨時技術者	加藤佑基	川辺町	現場作業・測量・調査	-	平成24年４月
森林技術者	中山晃則	川辺町	現場作業・測量・調査	-	平成24年５月

◆ 職員人事に関する報告 ◆

★平成25年３月31日をもって、職員１名が定年退職いたしました。

勤続年数	21年３ヶ月	氏　名	藤井　婦美（フジイ　フミ）	集　落	山寄
		役　職	会計主任	入社日	平成４年１月
経　歴	平成４年１月から平成25年３月まで21年３ヶ月間、当組合にて財務管理・会計・福利厚生の担当者として、会計主任の職務に勤められました。大変お疲れ様でした。				

★平成25年４月１日付けで、職員２名が入社しました。これからよろしくお願いいたします。

氏　名	鈴村　尚也（スズムラ　ショウヤ）	集　落	河岐
担　当	（業務・購買・加工）補佐	趣　味	音楽鑑賞
今後の抱負	職場の雰囲気にも徐々に慣れて来たところです。これからは、仕事内容を早く理解し覚えて、少しでも森林が良くなるよう頑張ります。		

氏　名	柘植　紀子（ツゲ　ノリコ）	集　落	赤河
担　当	（庶務・会計）補佐	趣　味	剣道、山歩き
今後の抱負	３ヶ月が過ぎましたが、全てが新鮮に感じ、毎日勉強の日々です。担当の仕事や森林の知識も身につけて、成長して行きたいです。		

貸　借　対　照　表

平成25年３月31日　（単位：円）

科目	内訳	小計	合計	科目	内訳	小計	合計
（資産の部）				（負債の部）			
流動資産				流動負債			
１　現金		218,139		１　買掛金		838,647	
２　預金		97,161,398		２　未払金		54,741,205	
３　売掛金	2,019,411			３　未払消費税		0	
貸倒引当金	13,020	2,006,391		４　未払法人税等		185,000	
４　未収金	128,990,148			５　諸預り金		24,930,279	
貸倒引当金	396,577	128,593,571		６　仮受金		0	
５　立替金		0		７　１年内返済リース債務		318,780	
６　棚卸資産		4,313,008					
７　仮払金		0		流動負債合計			81,013,911
流動資産合計			232,292,507				
固定資産				固定負債			
有形固定資産				１　リース債務		970,200	
１　建物	17,882,530			２　退職給付引当金		45,591,433	
減価償却累計額	16,115,047	1,767,483		その他			
２　構築物	1,340,000			農林漁業資金借入金		1,518,632	
減価償却累計額	1,339,995	5		固定負債合計			48,080,265
３　機械装置	34,782,708			負債合計			129,094,176
減価償却累計額	31,113,752	3,668,956					
４　車輌運搬具	4,825,331			（純資産の部）			
減価償却累計額	4,782,237	43,094		組合員資本金			
５　工器具備品	2,584,646			１　出資金		55,081,500	
減価償却累計額	2,492,808	91,838		２　利益剰余金			
６　リース資産	1,188,000			法定準備金		32,221,618	
減価償却累計額	158,400	1,029,600		その他の利益剰余金			
７　土地		19,811,263		任意積立金			
有形固定資産合計		26,412,239		（損失補てん積立金）		47,566,302	
				当期未処分剰余金			
無形固定資産				当期剰余金	3,469,690		
無形固定資産合計	0			前期繰越剰余金	1,384,862		
				積立金取崩金	3,800,000	8,654,552	
外部出資その他の資産				３　資本準備金		486,895	
外部出資				組合資本合計			144,010,867
１　系統出資金		7,540,000					
２　系統外出資資産		5,300,000		純資産合計			144,010,867
その他の資産							
１　農林漁業資金貸付金	1,518,632						
貸倒引当金	10,205	1,508,427					
２　預託金		51,870					
その他の固定資産合計		1,560,297					
固定資産合計			40,812,536				
資産合計			273,105,043	負債・資本合計			273,105,043

損　益　計　算　書

平成24年４月１日から平成25年３月31日まで（単位：円）

科目	小計	合計	事業区分				
			一般事業				
			計	指導	販売	加工	森林整備
Ⅰ事業総損益							
1事業総収益	178,786,863		178,786,863	6,598,200	33,265,613	4,651,182	134,271,868
2事業総費用	160,485,009		160,485,009	6,695,946	25,882,011	3,339,101	124,567,951
事業総利益		18,301,854	18,301,854	△ 97,746	7,383,602	1,312,081	9,703,917
Ⅱ事業損益							
1人件費	8,989,732		8,989,732	359,589	6,292,812	143,835	2,193,496
2旅費・交通費	27,477		27,477	2,747	1,373	2,198	21,159
3事務費	798,003		798,003	47,880	39,900	23,940	686,283
4業務費	705,492		705,492	35,274	7,054	7,054	656,110
5諸税負担金	981,300		981,300	49,065	9,813	39,252	883,170
6施設費	4,397,528		4,397,528	0	43,975	351,802	4,001,751
7雑費	0		0	0	0	0	0
事業管理費計		15,899,532	15,899,532	494,555	6,394,927	568,081	8,441,969
事業利益		2,402,322	2,402,322	△ 592,301	988,675	744,000	1,261,948
Ⅲ経常損益							
1事業外収益	1,922,812		1,922,812				
2事業外費用	2,008,153		2,008,153				
事業外損益		△85,341	△85,341				
経常利益		2,316,981	2,316,981				
Ⅳ特別損益							
1特別利益	17,261,730		17,261,730				
2特別損失	15,924,021		15,924,021				
特別損益		1,377,709	1,337,709				
税引前当期利益		3,654,690	3,654,690				
法人税及び住民税、事業税		185,000	185,000				
当期剰余金		3,469,690	3,469,690				
前期繰越剰余金		1,384,862	1,384,862				
機械導入積立金取崩		3,800,000	3,800,000				
当期末処分剰余金		8,654,552	8,654,552				

平成25年度　事　　業　　計　　画

昨年末には、民主党から自民党、公明党の連立政権へ交代し、第二次安倍内閣が発足しました。現内閣による経済対策等により、市場経済は良くなってきているが、原油価格の上昇等国内における経済状況は依然と厳しい一面もあります。

林業界においても、なかなか先が見えない現状が続いていますが、良くなる事を期待します。

平成23年に公布された森林･林業再生プランでは、森林組合は「施業集約化・合意形成・森林経営計画の作成等を最優先の業務として取り組むこと」とされ、地域林業の担い手としての役割は重要です。

また、昨年から森林施業計画制度から森林経営計画制度に変わり、集約化を前提とした補助制度となり、従来のような経営を続けていくことは厳しい状況にあります。これからの森林組合は地域の森林経営を考えていくことが、重要な役割となり取り組んで行かなければなりません。

今年度は、以上の事を踏まえ、集約化、路網開設、境界の明確化等を行い、利用間伐事業を実施し、高性能林業機械を活用して森林所有者への利益還元が出来るよう取り組み、立地条件の悪い森林については、森林の有する多面的機能の持続的発揮（環境林への誘導）するため、岐阜県環境保全林整備事業を活用し事業を推進してまいります。

本町の森林林業を守り活性化させていく大きな使命が組合にはあります。林業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。その中での制度改革等で大きく状況は変化しておりますが、組合員皆様の経営維持と白川町の林業振興を図っていきますので、ご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

◇指導部門

1）組合員への森林管理・経営指導の実施
2）施業集約化の地区説明会の開催
3）森林組合広報誌の発行により組合員との情報交換に努める
4）利用間伐を推進するため、作業路開設と高性能林業機械による現地見学会の開催
5）森林技術者を中心に林業労働災害防止安全対策講習会の開催をする
6）林業関係雑誌等で情報提供をする
7）不在村森林所有者等の森林管理・森林整備の推進をする

◇販売部門

1）利用間伐・間伐材全量搬出実証モデル事業の実施で事業量拡大を図る
2）集約化団地内のコスト削減に向けた利用間伐事業を推進する

◇加工部門

1）間伐材で建築材料、木製品の材料加工により需要拡大を図る
2）間伐材を使用した製品開発、加工販売の向上を図る

◇森林整備部門

○森林整備事業

1）間伐事業を軸に長期的な事業の推進、拡大を図る
2）路網開設を計画的に行える利用間伐の事業量を増やす
3）森林環境直接支援事業と環境保全林整備事業等を活用し、森林整備事業を実施する

○利用部門

1）森林整備地域活動支援交付金事業を有効活用し、森林調査･境界の明確化等を実施し、森林経営計画の促進を図る
2）施業集約化、森林経営計画の作成を進める上、山林の現地調査を行う
3）森林整備の実施を兼ねた地籍調査を実施する
4）病害虫防除事業の計画的な伐採処理を継続して行う

○福利厚生事業

1）森林国営保険、労働災害保険制度への加入促進

○購買事業

1）組合員の要望に応え、質の高い林業機械・資材の斡旋
2）薬剤・肥料について法令の遵守など正しい取扱いと技術普及に努める

○金融事業

1）公庫資金等融資制度の活用により、森林経営の活性化を図る

平成25年度　森林整備に関する集落座談会を開催

平成25年度　森林整備に関する集落座談会を５日間、各地区９会場にて開催しました。

可茂農林事務所（林業課）･白川町農林商工課（林務商工グループ）より出席いただき、各種事業推進等のご指導をいただきました。

（内　容）

１）　平成24年度　事業実績報告について（貸借対照表・損益計算書）
２）　平成25年度　事業計画について
３）　受託事業（間伐・作業道）について
４）　補助事業の内容について
５）　森林経営計画について
６）　意見交換会

開催月日	地区	会場	時間	出席人数
平成25年７月２日	白川	町民会館	13：30～	12名
	白川北	白川北ふれあいセンター	19：30～	24名
平成25年７月４日	佐見	佐見ふれあいセンター	13：30～	26名
		佐見ふれあいセンター	19：30～	14名
平成25年７月５日	蘇原	切井体育館	13：30～	12名
		蘇原ふれあいセンター	19：30～	15名
平成25年７月９日	黒川	黒川ふれあいセンター	13：30～	22名
		黒川ふれあいセンター	19：30～	15名
平成25年７月10日	全地区	白川町林業センター	19：30～	13名
合計		９会場		153名

（佐見ふれあいセンター）

（白川北ふれあいセンター）

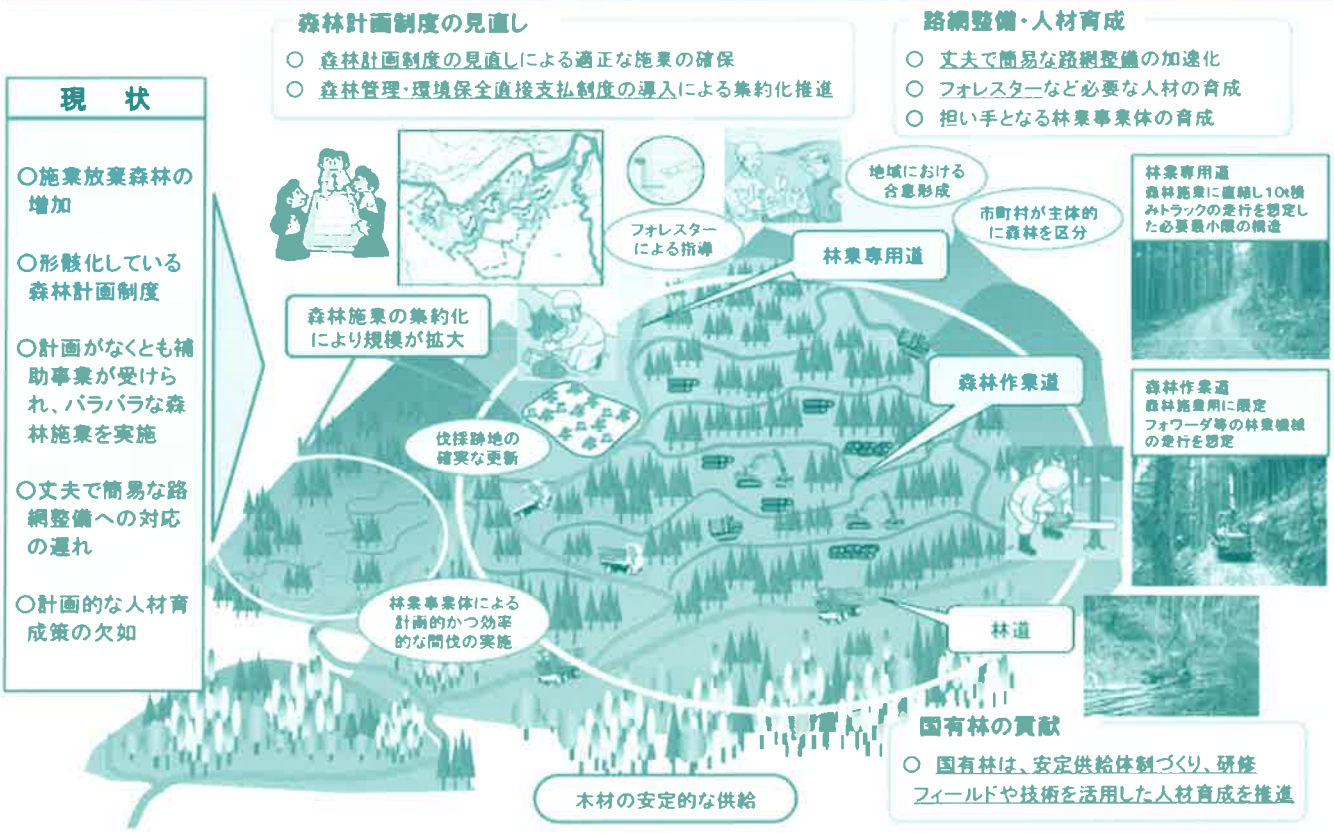
組合員の皆様、ご出席ありがとうございました。
森林計画制度も大幅に変わり、その内容について今年度も間伐事業を中心の推進を行いました。
これからも、少しでも多くの組合員の皆様に利用していただける森林組合となれるよう努めます。

施業集約化団地の設置状況

平成22年度から、町内で17団地の集約化団地を下記のとおり策定しています。

地域名	団地名	人　数	区域面積（ha）	当年度実行量	
				搬出材積（m3）	間伐実施面積（ha）
白　川	岩　ス　栃	17	39.56	3.544	0.00
白　川	大　畑	16	71.57	0.000	0.00
白川北	西　ヶ　洞	26	133.50	0.000	0.00
蘇　原	角　料　・　落　合	52	75.69	242.170	0.00
佐　見	稲　田	11	212.28	407.207	22.62
黒　川	黒　川　北　部	17	94.78	443.632	0.00
黒　川	黒　川　東　部　①	14	103.67	0.000	5.19
黒　川	黒　川　東　部　②	16	162.30	0.000	12.87
黒　川	黒　川　南　部	12	85.16	736.004	16.19
黒　川	笠　ノ　尾	10	34.00	0.000	0.00
蘇　原	赤　河	75	66.43	296.581	6.64
蘇　原	切　井	66	293.85	368.865	16.30
白　川	万　場	28	56.59	98.454	0.00
佐　見	室　山	9	106.26	383.197	10.69
白川北	葛　牧	23	63.65	0.000	0.00
蘇　原	米　野	2	75.10	94.763	0.00
白川北	下　林	1	33.54	0.000	0.00
合　計		395	1707.93	3074.417	90.50

森林・林業の再生に向けた改革の姿（イメージ）

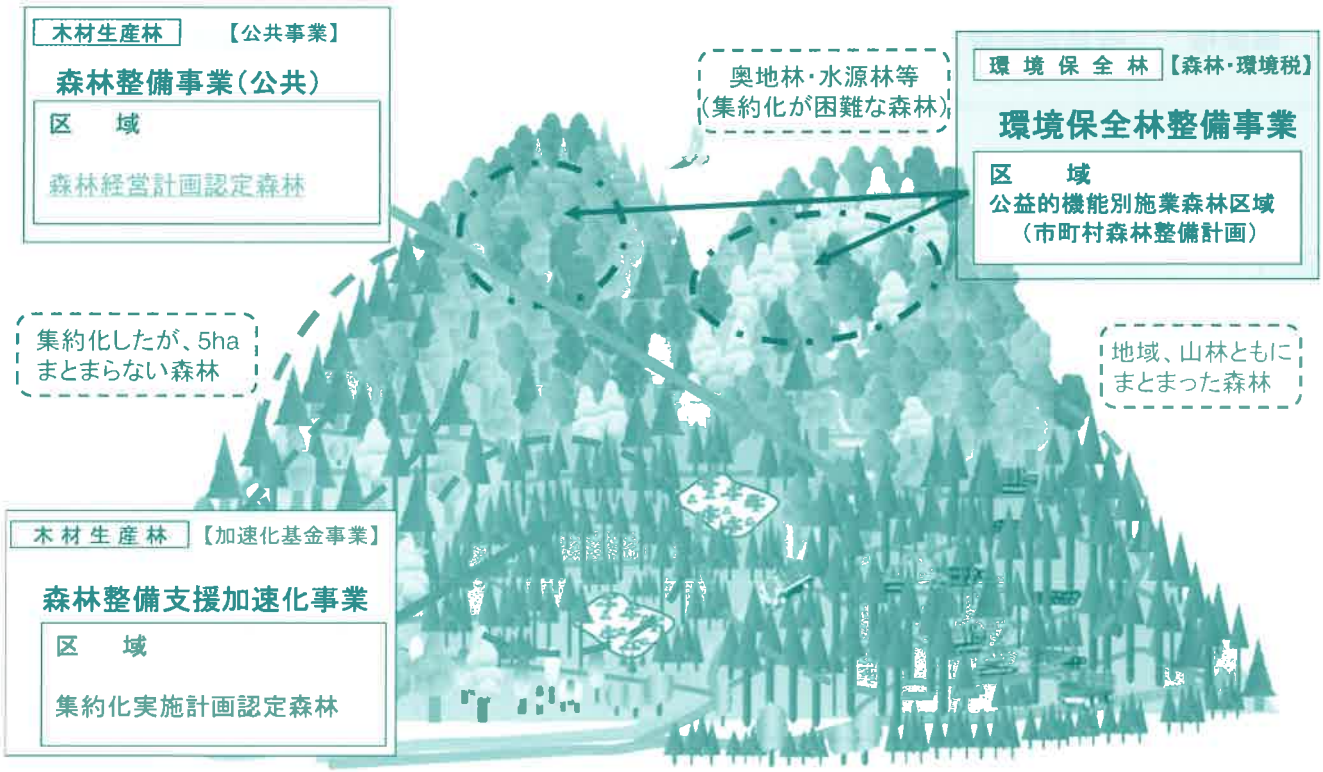


森林経営計画の作成状況

平成24年度は、町内で７団地の森林経営計画を作成しました。

地域名	団地名	計画面積（ha）	計画期間
蘇原	米野	67.37	平成25年４月１日～平成30年３月31日
佐見	大野	132.82	平成25年４月１日～平成30年３月31日
黒川	大多尾・赤原	336.59	平成25年４月１日～平成30年３月31日
白川	岩ス栃	61.95	平成25年４月１日～平成30年３月31日
白川北	下山	94.70	平成25年４月１日～平成30年３月31日
白川	万場	98.44	平成25年４月１日～平成30年３月31日
蘇原	角料・落合	98.47	平成25年４月１日～平成30年３月31日
合計		890.34	

森林施業（造林補助金）の支援について



当組合は、森林を健全な姿で次世代へと引き継いでいくことを目指しています。今年度も地域に併せた『森林経営計画』、『集約化実施計画』等の推進を行っていきます。現在、『上佐見地区』と『下佐見地区』及び『南黒川地区』にて経営計画を策定中です。組合員の皆様のご理解とご協力を何卒、よろしくお願い申し上げます。

森林整備補助申請について

昨年の4月から、森林計画制度及び補助申請制度が大きく改定されました。

これからは、森林経営計画と集約化計画と搬出間伐事業の拡大に向けた内容となります。切捨間伐事業については、搬出間伐との調整を行うことによって実施できます。

尚、25年生以下の人工林については、除伐Ⅱ事業を1回目の切捨間伐として実施します。

切捨間伐と除伐Ⅱ事業については、国・県の補助金に加えて白川町より補助金が上乗せされることによって、 自己負担金なし で作業を行います。

又、搬出間伐についても白川町単独事業の『間伐材全量搬出促進モデル事業』を実施することによって、少しでも森林所有者のみなさんに利益還元できるように推進して行く考えです。

補助制度を上手く活用することによって、白川町の森林・財産を守って行きましょう。

今こそ、間伐を（実施・計画）するチャンスです！

お申し込み及びご相談は、白川町森林組合へいつでもお尋ねください。(土曜日もOKです。)

（ha当たりの概算作業費）

事業種		概算事業費	概算補助金	自己負担金	積算内容
除伐	Ⅰ	15万円/ha	9万円/ha	6万円/ha	雑木の状況による 刈払い機を使用
	Ⅱ	14万円/ha	14万円/ha	負担金無し	胸高平均直径18cm未満の場合 チェンソーを使用 （町単上乗せ）
間伐	切捨	14万円／ha	14万円／ha	負担金無し	搬出間伐との調整 （町単上乗せ）
	搬出	12千円／㎥	31万円／ha （保証）	木材売上金より、事業費を差引後、残金を返却します。	30㎥/haの木材出荷が条件 切捨間伐との調整 （町単上乗せ）

各種事業の委託申込書をお早めに森林組合へ提出してください！

その後、『森林経営計画制度を使った公共間伐事業』か『集約化計画を使った基金間伐事業』か『市町村森林整備計画を使った森林・環境税間伐』のいずれかで対応して進める計画です。

清流の国ぎふ森林・環境税事業について

昨年度から岐阜県では、森林環境税が導入されました。

白川町森林組合では、森林環境税を活用して、森林整備（切捨間伐）を推進して参ります。

【対象森林】

次に掲げる全てを満たす森林及びこれらの森林と併せて一体的に整備することが必要な森林とする。

●市町村森林整備計画において水源の涵養の機能、土地に関する災害の防止機能又は土壌の保全機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林又は、区分される予定の森林で、次のいずれかに該当すること。

（ア）飲用水や農業用水等の水源として重要な森林

（イ）渓流に面した森林

（ウ）山地災害等を防止する上で重要な森林

（エ）木材生産をする上で立地条件が不利な森林

今年度も町内で約200haの切捨間伐を計画中です。森林所有者の皆様のご協力をお願いします。

新規導入した高性能林業機械の紹介

林業機械名	油圧ストローク式　ハーベスタ
ベースマシン	SUMITOMO　SH135X-3BB
ハーベスタ	KESLA 25SH
作業内容	1．立木の伐採 2．測　尺 3．造　材（玉切り） 4．枝払い

平成25年２月末に導入しました。
現在、黒川地内で稼働中です。次の現場は、佐見の予定です！

購　買　情　報

エルバ　魔法のカバー

コードの先端のみで刈るため燃費・作業時間30%軽減!!

取付後の驚き
- 切れ味向上
- 燃費向上
- 草が絡まず
- コード長持ち
- 飛散物減少

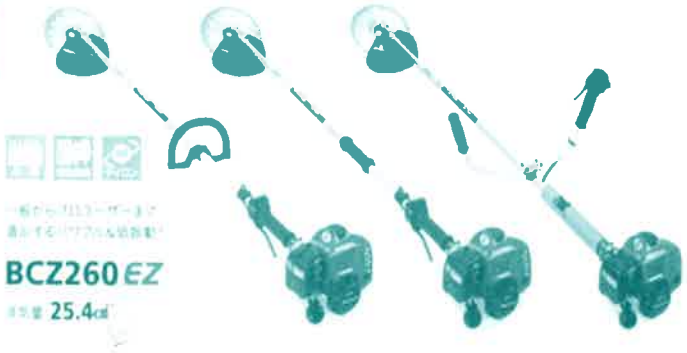
￥2,000

新型チェンソー（ゼノア）

GZ3900EZ	GZ4300EZ
定価　￥111,720	定価　￥138,180
⇩	⇩
￥84,000	￥99,000

新型 刈払機（ゼノア）

BCZ260EZ	BCZ230EZ
定価　￥72,450	定価　￥61,950
⇩	⇩
￥59,000	￥48,000



産業現場実習について

7月31日から8月2日の3日間、岐阜県立加茂農林高等学校の2年生林業工学科の4名が現場実習に来てくれ、山での集材作業を体験しました。

今井 太郎 君（佐見）
加藤 雅也 君（河東）
澤田　輝 君（河岐）
吉村 拓実 君（赤河）

組合員名義変更手続きを

森林組合員名義変更は次の場合、手続きが必要となりますので該当される方は当組合事務所にて、お手続きいただきますようお願い致します。

(1) 組合員が亡くなられた場合
(2) 譲渡された場合
(3) 住所を変更された場合